



•退任挨拶





- Japan International Hospitals推奨病院
- ISO15189取得



退任のご挨拶



副院長 眞 人

副院長就任の挨拶から3年が過ぎました。研修医として1年、外科 医としての31年を足しますと合計35年近くを足利日赤で勤めさせて 頂きました。皆様には本当にお世話になり心から感謝申し上げます。

去るに当たり自分が何ができたかをしみじみ考えましたが、両毛地 区の外科診療には少しはお役に立てたのかなと自負しております。そ れもこれも、前回にも書きましたが足利日赤のスタッフが非常にまとまり が良く、また、献身的に働いていただいて素晴らしい医療環境であっ たことが幸いであったものと思っております。

医療は専門の垣根を越えてすべてのスタッフのチームワークが何よ り大事なことですが、まさにそれを体現していたものだと感じています。

この地域において足利日赤はなくてはならない存在ですので、皆様 におかれましてはいろいろと大変でしょうがより一層頑張って頂きたい と思います。私も微力ながら少しでもお手伝いができるよう努力いたし ます。

最後に皆様方のますますのご活躍を祈念いたし、退任の挨拶とい たします。





副院長兼事務部長 鷲見 圭司

私は、昭和53年に薬剤師として入職以来39年間という長きにわたり お世話になりました。平成7年には薬剤部から事務部に異動になり、そ れまでとは仕事内容が大きく変わりました。用度課、会計課、医事課、 総務課と本当に沢山のことを経験させて頂きました。在職中最大の イベントは新病院移転事業と思います。その事業に建設準備室長とし て携わることができたことは私の財産であり、この経験が大いに役立ち ました。

移転後早6年が経過しようとしていますが、今なお新病院は輝いて います。安定した病院経営が継続できていることから、昨年には第1回 国際医療福祉建築賞を受賞し世界一の病院になりました。このことは 正に病院風土として根付いている職員の勤勉さと帰属意識の高さの 証です。

私は、理念にあるように「勤めてよかった病院」と心から思って います。勿論、今でも「かかってよかった病院」ですが、皆様のお力で 更にもっとよい病院にして頂ければ幸いです。

長い間、誠に有難うございました。





足利赤十字病院が

[Japan International Hospitals] (日本国際病院)に推奨されました

足利赤十字病院は、2017年1月31日に『Japan International Hospitals』 (略称:JIH)に推奨されました。

『Japan International Hospitals』とは海外からの渡航者が安心して医療が受 けられるよう体制が整った病院のことであり、日本政府とJIHの情報を海外へ発信 する一般社団法人Medical Excellence Japanによって行われ、今回は全国の28 病院が推奨されています。

日本への外国人渡航者は近年著しく増加し、医療の国際展開は国の政策として 進められており、外国人に対応できる病院の必要性が問われています。当院は、国 際認証であるJoint Commission International(略称:JCI)を取得しており、更に 英語や中国語の通訳、外国人看護師が勤めているなど、あらゆる患者様にとって 安全で高水準の医療を提供ができる点が評価されました。また、当院では通常の外 国人患者への診療対応はもとより、病院見学についても、これまでに9ヶ国173名の 対応をしています。

小松本悟院長コメント

『外国人向けの医療サービスは需要が増えてきています。国際的な視点を持って 当院にかかる患者様により良い医療を提供できるよう今後も努めてまいります』



矢



ISO15189の認証を取得



ISOは国際標準化機構(International Organization for Standardization)の略称であり、国際規格を立案・制定している機関です。今回、当院が取得したISO15189は臨床検査室に特化した国際規格であり、「品質マネジメントシステムの要求事項」と「臨床検査室が請け負う臨床検査の種類に応じた技術能力に関する要求事項」の2つから構成されています。

当院はJoint Commission International (JCI)の認証を取得しており、 医療の質の向上と患者安全への取り組みを継続しています。今回、 ISO15189の認証を受けたことにより、国際的な評価機関2カ所から認定を 受けたことになります。継続的な改善と向上を繰り返し、患者様にとってより安心して受診ができる、そして、足利赤十字病院にかかってよかったと言える病院 創りに努めていきます。

どのような審査が行われたの?

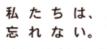
検体検査と生理学的検査、病理学的検査の3分野を、6名の審査員が3日間来院し、書類の監査や現場ラウンド、実技試験によって行われました。審査後の審査員からは、トップクラスの準備・対応・内容であったと高評価をいただくことができました。







平成28年度『私たちは、忘れない。』 ~未来につなげるプロジェクト~





INCREDITE CONTRACTORS AND SOCIAL RES

東日本大震災から6年が経過しましたが、復興 支援は現在も続いている状態であります。前回は 東日本大震災~復興支援プロジェクト~ということ で実施いたしましたが、今回は阪神淡路大震災、 熊本地震も含めてのプロジェクトとしてイベントの 実施となりました。

イベント開催日は、3月11日(土)が休診日となったため、前日の3月10日(金)としました。実施内容では印象深くすることを目的から、各部署の協力により、各ブロック受付、総合案内、救護活動のパネル展示2箇所に救護服を着用した職員が業務や案内等を行いました。また、当プロジェクトを少しでも多くの方へ広めたいと思い、全国共通版の配付パネルを各受付等に展示いたしました。

全国各地で被災された方々に対して、職員一 同、少しでも早い復興を祈念しております。









~患者様の安全を最優先~ 足利赤十字病院が防災·防火訓練を実施

2月20日(月)に、院内で火災が発生したことを想定した防災・防火訓練を実施しました。今回の訓練は、CCUと一般の混合病棟である東3階病棟のサニタリールームで出火したことを想定したもので、独歩可能な入院患者の避難、独歩不可患者には、エアストレッチャーなどを用いて避難させるなど、約2時間にわたって訓練が行われました。

院内への火災発生非常連絡、出火直上階の避難誘導、確認、対策本部への避難報告を実施し、訓練終了後には参加者、足利消防職員が集まって意見交換を行い、入念に災害発生時の対策方法について協議しました。両毛地区の中核病院として、患者様の命を最優先で守っていくため日頃の備えを大切にしていきたいと考えており、いつ発生するか分からない災害ではなく、いつか発生する災害に備え、今後も継続して訓練を行っていきます。





▲対策本部に報告を行う職員



▲意見交換会の様-



Report & Information sauare

職場環境をよりよくするための自主的な管理活動

QCサークル発表大会を開催しました

3月7日に、6回目となるQCサークル発表大会を開催しました。院内各部門の6サークルが病院目標で ある「倹約」の改善活動に取り組みました。表彰式では、看護部内視鏡部門「QCサークルZERO」の内 視鏡スコープ修理代の削減への取り組みが高く評価され、最優秀賞を受賞しました。惜しくも受賞を逃 したサークルも、それぞれ良好な成果を達成されました。

当院では、これからも現場で働く職員主体の改善活動であるQCサークルを支援し、業務の質向上に 取り組んでいきたいと思います。

平成28年度 活動サークル

- ●薬剤部(ヤクザイル2016) 服薬指導記録時間の短縮
- ●放射線科(栄光ECOの架橋) 節電への取り組み
- ●看護部検査治療部門 (内視鏡室QCサークルZERO) A スコープ修理代の削減
- ●事務部(倹約戦隊ケンヤクン) 消耗品の削減
- ●リハビリテーション技術課 (それいけ!チームST) サマリー作成時間の短縮
- ●看護部外来部門 (ABC-Dブロック隊) SPDカードの紛失への取り組み



内視鏡室

ま知 お気軽にお越しください らせ 院内行事スケジュール

がん患者様の治療と生活を支援するため、情報やケア体験を提供する場所です。 がんに関心をもたれている方、お気軽にお立ち寄りください。

 \Box \$ 4月17日(月)·5月1日(月)·15日(月)·6月5日(月)·19日(月) 午前10時~午後2時

場所イベントルーム

リボンズハウス

お知 第4回 足利赤十字病院祭 らせ ハートクロスフェスタを開催します!

今年もハートクロスフェスタを開催します。コンサートや、救急車・救護 車両の展示や栄養相談コーナー、出店・炊き出しコーナーや、救護服や ナース服姿での「ちびっこ写真撮影コーナー」も。ぜひご家族でお越しく ださい!

5月**13**日(土) 午前10時~午後3時

場所 足利赤十字病院 講堂・エントランスホール他

ハートクロスコンサート

ちびっこ写真撮影

たかうじ君き 参加します







- ・高校生病院体験コーナー ・救急車・救護車両展示コーナー ・栄養相談コーナー
- ・リハビリ、運動機能測定コーナー・認定看護師相談コーナー
- ・お薬相談、調剤体験コーナーなどなど普段知ることのできない足利赤十字病院を体感しよう!!

お問合せ 足利赤十字病院 TEL: 0284-21-0121

私たちと一緒に働きませんか?

新卒看護師の皆さんには、充実した教育体制で看護師として の第一歩をサポートします。経験者の皆さんには、一人ひとりに 合った働き方とキャリアアップを応援します。職場体験や就職 説明会も是非ご参加ください。

介護福祉士 部署:回復期病棟、一般病棟 業務:看護とリハビリの補助および介護 応募条件:介護福祉士免許 夜勤あり

介護職員部署:回復期病棟、一般病棟 業務:看護および介護の補助 応募条件:ホームヘルパー1級または2級 夜勤あり

看護助手部署:一般病棟業務:看護の補助パート可



TEL.0284-20-1302(直通) ●E-Mail jinjika@ashikaga.jrc.or.jp

●HP 「足利赤十字病院 看護部」で検索



平成29年度 新入職員



健康レシピ紹介

栄養課の



<mark>ピタ ニント | こに |</mark> ストレスケアをして 新年度良いスタートをきりましょう

春は新しい出会いにドキドキしたり、別れに悲しんだり。意外とエネルギーを消耗します。 それだけでなく、花粉症や季節の変わり目で体調を崩しやすかったりと、**春は心も身体** も忙しい季節です。そのため、春は心身の不調によりストレスが溜まりやすい 時期でもあります。



管理栄養士 入江 光世

*

春はストレスケアが大切

ケアの一つとして忘れてはいけないのが『ビタミンB群』の存在です。その中でもビタミンB1は

●疲労回復効果 ②神経機能を正常に保つ効果が報告されており、ストレスケアには欠かせない栄養素です。



※現在ビタミンB1の過剰摂取は報告されておりません

[ビタミンB1摂取推奨量] 男性:1.4mg/日 女性:1.1mg/日

ビタミンB1が多い食材…動物性食品や玄米



豚ヒレ肉 0.98mg/100g



0.75mg/100g



玄米ご飯 0.16mg/100g



ビタミンB1は、ニラやニンニク、玉ねぎに含まれる「アリシン」と一緒に摂取すると吸収率がアップします。



■栄養成分(1人分) エネルギー:190kcal 塩分:1.0g ビタミンB1:1.2mg

材料 [3人分]

- 豚ヒレ肉・・・・・・・・・・3切れ(300g)シャリアピンタレ
 - 玉ねぎのすりおろし…………1/2個 ごま油、醤油、酢、砂糖……各大さじ1杯 塩………少々
- 豚肉はタレが染み込む様に切れ目を入れる。
- 20分以上漬け込む。
- 3 ②をこんがりと両面焼く。
- ④ ③の肉を一度取り出し、フライパンを拭く。 残りのタレを入れ約1分温める。
- **6** 食べやすい大きさに切った③の肉を 盛り付け、上から④のタレをかける。

放射線科の豆知識

アイソトープ検査



体内に 目印をつけた 薬を入れて 撮影します。

RI(ラジオアイソトープ)検査または核医学検査とも呼ばれます。心臓や骨などの見たい臓器に集まるお薬(放射性医薬品)を、 検査の前に注射をしたり飲んだりしていただきます。そのお薬からは微量の放射線(ガンマ線)が放出されます。その放射線を 専用のカメラ(ガンマカメラ)で検出し、見たい臓器を画像化するものです。この検査によって臓器の形や働きがわかります。



どうして待ち時間があるのですか?



お薬によって臓器に集まる時間が違うため、お薬を投与してからすぐに検査ができる臓器と時間をおかないとできない臓器があるためです。



放射線の影響はありませんか?



放射性医薬品からは、わずかな放射線が放出されていますが、ごく微量であり心配はありません。検査の際に受ける放射線の量は胃のX線検査とほぼ同じ程度です。また、体内の放射能は、時間とともに減衰したり、お薬が体外に排泄されることで速やかになくなります。



足利赤十字病院 Japanese Red Cross Ashikaga Hospital 〒326-0843 栃木県足利市五十部町284-1

TEL: 0284-21-0121 FAX: 0284-22-0225 ホームページ http://www.ashikaga.jrc.or.jp/広報誌「風流鯨」Vol.17/平成29年4月20日発行 編集・発行/足利赤十字病院広報委員会